会報　一の宮巡拝　第26−0034号　　平成29年12月15日

一の宮巡拝

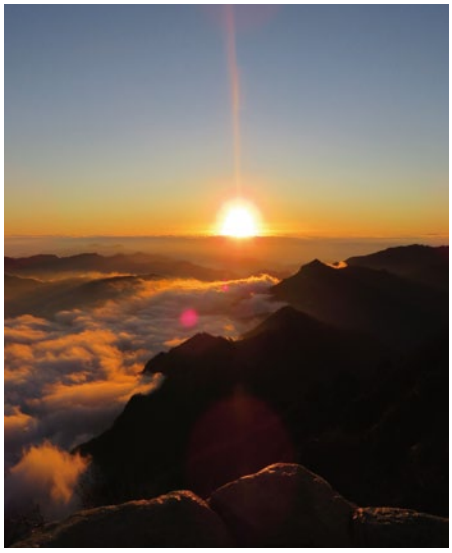
一の宮巡拝会　発行人　塩原 輝昭
〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話：03-5823-3901　ファックス：03-3865-2135
http://ichinomiya-j.com　E-mail:junpai@alpst-net.co.jp

ある日の登拝に思う

「光陰矢の如し」平成29年もあと僅かな日をのこす師走となりました。激動の酉年であった様に思えます。

私ごとでございますが、29年は特に山岳修験の祈りが残る山々と関係深い神社参拝や登拝が多かった様に思っています。鳥海山大物忌神社本社が鎮座する鳥海山2236米の山頂本殿では20年に一度の式年造替による遷座祭が7月8日に行われた。8月11日東京からのアプローチは雨中の移動でした。12日は小雨ふる中登山し山頂に宿泊しました。翌13日早朝は快晴に恵まれ新山を登り、今年も「影鳥海」を見る事が出来ました。その後本殿で高橋宮司様により御祈祷をして頂き下山しました。

５年間の願掛け登拝を目指しているので平成30年は区切りの登拝となります。御皇室の弥栄と天皇・皇后両陛下の御健勝を切に願っている中、今上陛下におかれましては平成31年４月に３０日に「御譲位」が確定され退位される事となりました。御在位30年の長きに亘り象徴天皇として日本の国家安穏の祈りをされると共に国民の平安又世界平和を祈り続けてくだされたことは言葉に尽くせぬ感謝の思いでございます。平成31年の譲位…践祚大嘗祭の儀式が厳粛に行なわれ、新元号のもと新天皇を拝する事は尊い黎明と成るに違いないと思う今日です。


石鎚山 頂上社からの日の出　11月3日

11月３日が閉門式を迎える石鎚山頂上社の登拝を実施しました。羽田を２日の朝 JAL１番機で高松空港へ〜レンタカーで愛媛県西条市西之川下谷入り、ロープウエイからリフトを乗り継ぎ中宮成就社の参拝を経て登山開始、八丁坂・前社ヶ森小屋・夜明かし峠を過ぎて一の鎖を登り石鎚山頂（弥山）へ…頂上山荘宿泊。

３日朝から素晴らしい天候にめぐまれ感動の日の出を拝し、頂上社で朝拝に参加から御祈祷をして頂く、食事後、天狗岳の往復をして素晴らしい展望を満喫しながら11時斎行の閉門式に参加して三度（みたび）ご神像に触れさせて戴き更に感動する。石鎚修験の良い人達との出会いも有り思いで深い登拝となった。昼食後下山を開始し往路を経て高松空港から帰京した。

11月19日は茨城県の筑波山登拝に行く。男体山からは自然美を残す自然研究路コースで展望所へ戻り小休後、女体山を登り多くの奇岩が点在する白雲橋コースで下山した。筑波山神社に寄って宮司 岩佐弘史様に久し振りにお会いし貴重な時間を過ごさせて頂く。境内社の御案内を頂き日枝神社の欄間に「見ざる・言わざる・聞かざる」三猿の彫り物が有り日光東照宮より以前の彫刻物である貴重な彫り物をみせていただいた。筑波山にも神窟を巡る「禅定」と呼ばれる筑波山修験の行事がある事も知った。出羽三山をはじめ、那須山・八海山・甲斐駒ヶ岳・戸隠山 等など今も各地に継承されている修験道が多く残っている事をあらためて知った29年でした。

来たるべき平成30年・戊戌歳が良き年となります様に山の神々様に祈りをして参りたいと思います。

一の宮巡拝会　代表世話人　塩原 輝昭

入会を希望する方は各事務局へご連絡ください。

一の宮巡拝会 本部事務局
〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話：03−5823−3901　ファックス：03−3865−2135
E-mail:junpai@alpst-net.co.jp

一の宮巡拝会 関西事務局
〒573-1197 大阪府枚方市禁野本町1−8−32−307 中谷 英明内
電話：072−848−8980　ファックス：072−848−8980
E-mail:nakatani8980@maia.eonet.ne.jp

入会金・会費等お振込先：郵便振替（大阪）00990-5-81515
http://ichinomiya-j.com

報告 一の宮めぐり 安芸国 平成29年10月28日(金)～29日(土)

第1日目：安芸国 三の宮 多家神社ほか　第2日目：安芸国 一の宮 嚴島神社ほか

10月28・29日、クラブツーリズム主催の「一の宮めぐり安芸国」をご案内してきました。
参加者は22名、初参加者は1名。秋雨前線と台風の影響による天候の心配がありました。

（第一日目）
　羽田を出発し、広島空港に着くと通常の雨。先ずは**①安芸国三の宮・名神大・多家神社（自由参拝）**へ。風もなく小雨の中を参拝。本殿裏手で氣を頂き、いざ、宮島へ。荷物をホテルへ預け、フェリーへ。ここも風もなく小雨の中を弥山ロープウェイ乗り場へ。途中では瀬戸内海と呉市まで見えたり霧中。最上駅では、霧雨で視界不良。ここから、登拝組と下山組に分かれました。私は下山組。下山組は、展望台で島の東側を見て下山。参道の「焼きガキ」店を目指して、ロープウェイで下山。傘をさし、もみじ谷を散策しながら、引き返しました。登拝組とは連絡を取りながら、「焼きガキ」を十二分に堪能して、待ち合わせ場所のフェリー乗り場へ。登拝組からは、「頂上は霧で視界不良。しかし、施設は全て拝観した。一の宮めぐりで、一日で一万歩以上歩いたのは今回が初めて」と。さすがに疲れた様子に、ホテルに戻り、早速の夕食。明日の天候回復を祈りながら、就寝しました。（第二日目へ）。

（第二日目）
　やはり、雨模様。あまりひどくないのがすくいか？フェリーで宮島へ。傘をさしながら**①嚴島神社（正式参拝）**へ。参拝後、神職様からご挨拶と説明を頂きました。ありがとうございました。宝物館を含め、周辺を散策。9時55分が干潮でしたが、雨でもあり、鳥居下へは行きませんでした。ご本殿裏手からの拝観後、自由行動時間としてフェリー乗り場へ集合としました。私は、希望者と共に、五重塔（神社境内で、国宝・重文の塔が残っているのは全国で3社）と千畳閣を見学し、参道を通ってフェリー乗り場へ。
集合し、人数確認後、宮島口へ。こんなに長時間、宮島を堪能したのは初めてだとの感想でした。とにかく歩きました。雨の中の宮島も、又、良いものです。霧

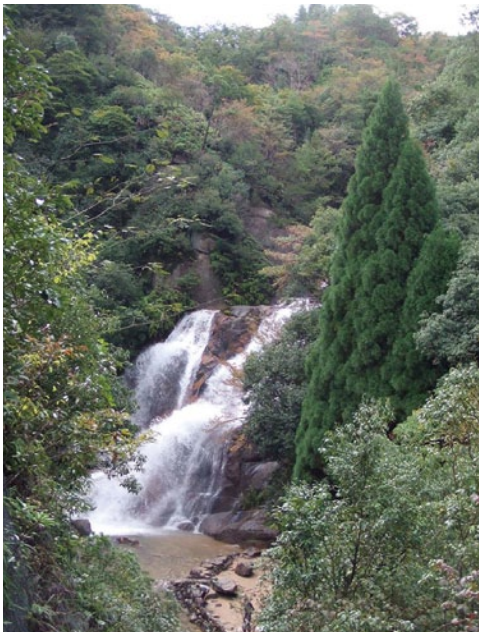
で対岸のビル群が霞んで、良かった。とにかく、観光客が多い。喜ばしいことではあります。昼食は「カキ小屋」で、カキを堪能し、雨も上がり、青空が顔を覗かせる中、**②嚴島神社境外摂社・大頭神社（自由参拝）**へ。大頭神社は、私の知る限り、因島の私の氏神様と当社しか、祀られていません。一説に、嚴島神社より以前に祀られていたと。特にお薦めは「妹背の滝」。前日からの雨により水量が多く、特に「雄滝」の迫力は最高。「雌滝」は、龍の滝登りって感じです。
十二分、堪能しバスへ。宮司様以下神職様の温かいおもてなし、ありがとうございました。

次に**③安芸国二の宮・速谷神社（自由参拝）**へ。陽がさす中、参拝。どこの神社も、「七五三詣り」で可愛い参拝者が多い。「笑う狛犬」など境内を散策。
台風の心配もあり、早めに空港へ。一時間強の遅れでしたが、あまり揺れもなく羽田に到着。横浜に着くと月が迎えてくれました。今回の一の宮めぐりは、いずこの神社でも特別な体験があり、天候も全く困るような事もなく、逆に良かった部分もあり、なにか守られ導かれた感じを強く持ちました。参加の皆様、お疲れ様でした。そして、本当に有難うございました。

ナビゲーター　村上 彰（関東ブロック世話人）

一の宮巡拝会 関西ブロック活動報告

関西ブロックでは、二十二社参りを始めました。会員で既に一の宮巡拝を完拝した方々の希望もあり、関口 行弘 相談役の企画で 日帰りバスツアーを行っています。毎回正式参拝と趣向のあるグルメを楽しんでいます。次回は3月13日です。
希望者は中谷 英明までお申し込みください。
日時：平成30年3月13日(火) 10:00～18:00
場所：集合場所はＪＲ京都駅前
（梅宮大社、吉田神社、平野神社を参拝します。）
バスツアー料金：1万円（バス代、初穂料、昼食代を含みます）
申し込み締め切り日：平成 30 年 1 月 31 日
申し込み先：中谷 英明（一の宮巡拝会 関西事務局）携帯電話 090-3947-5285



▶ご注文の際は番号と品名を必ずご記入下さい。

❺斐伊川和紙（二十二社）定価一万円

❻四国楮和紙（二十二社）定価六千円

ご購入希望者は本部事務局まで

B5版　軽量で携帯に便利！ 墨書きに優れ、好評の和紙御朱印帳です。

❹四国和紙・本文白紙版（楮笹ヶ峰）
定価六千円（送料別）

❸四国和紙・楮笹ヶ峰
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価七千円（送料別）

❷斐伊川和紙（奥出雲・手漉き）
本文白紙版
定価一万三千円（送料別）

❶斐伊川和紙（奥出雲・手漉き）
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価一万五千円（送料別）

「諸国一の宮巡拝成就の証」発行について

全国一の宮102社（108所）を巡る参拝の旅は、広大無辺な御神徳を頂ける祈りの旅でもあります。私たち巡拝者に多くの事象を大自然の法（のり）と共に、神と生きる道を教示してくれる。何巡目になろうと、常に新鮮な御魂になれる場所こそが、一の宮の聖地で在ろうと心得て惟神（かんながら）の歩みを続けて頂きたいと存じます。今回、諸国一の宮を完拝された会員を祝福させて頂く証しのために『**諸国一の宮巡拝成就**』の記念御守カードを作製致しました。未会員の方はご相談下さい。東京本部事務局で完拝の証明が出来た方のみ、御希望者には特別頒布をさせて頂きます。（但しお一人様一組3,000円、巡拝成就記念お守り携帯カード・完拝証状　完拝者名入 A5判）

☆お問い合わせは本部東京事務局まで

Tel:03−5823−3901（月〜金）13:00〜17:00
（土・日・祝は休業です）

E-mail:junpai@alpst-net.co.jp

「全国一の宮会」編　公式ガイドブック

◆全国一の宮めぐり

一の宮神社の神職で構成されている『全国一の宮会』事務局（大和国一の宮大神神社内）で平成二十年十二月に発刊された公式ガイドブック一の宮めぐりは現在第八版となっております。巡拝会発行の「全國一の宮巡拝のすすめ」と合せて活用して頂けたら幸いです。

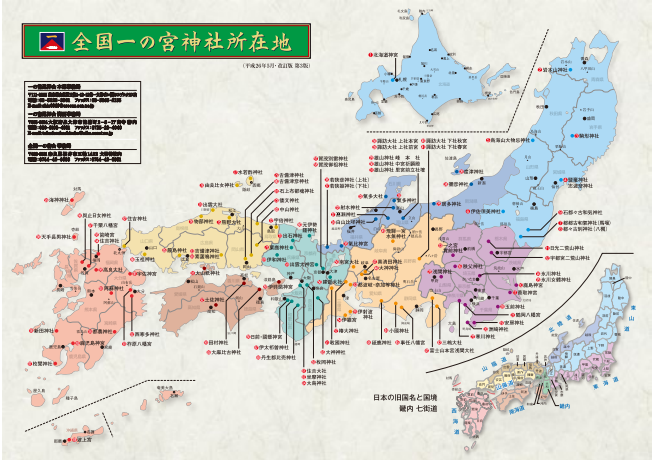
◆旅する一の宮

一の宮めぐりをもっと気軽に旅するガイドブックとして新たに平成二十四年五月一日に発刊されました。一の宮神社案内と合わせ、各神社周辺の観光スポットを紹介した多彩な情報が満載です。尚、各公式ガイドブックは一の宮神社と一の宮巡拝会本部事務局で頒布しており、一般の書店では購入することは出来ません。全国一の宮神社の社頭でお求め下さい。神社にない場合は、左記一の宮巡拝会本部事務局へお問合わせ下さい。

頒布価格　各一、〇〇〇円（送料別）

◆全國一の宮巡拝のすすめ　ー改訂版ー
B5版 20頁（会員は無料）

◆全国一の宮神社所在地（会員は無料）
B3版横両面刷り（四ッ折 B5サイズ仕上）



「全國一の宮巡拝のすすめ」「全国一の宮神社所在地」をご希望の方は、送付先を明記の上、送料分（1セット）切手360円（310円切手不可）を同封し、必ず封書で本部事務局へお申し込み下さい。

ー平成30年度 改訂版 制作中ー

一の宮巡拝会 本部事務局
〒一一一−〇〇五五
東京都台東区三筋一−十二−十二（株）アルプス・タカス内
電　話　〇三−五八二三−三九〇一
FAX　〇三−三八六五−二二三五
一の宮巡拝会 関西事務局
〒五七三−一一九七
大阪府枚方市禁野本町一−八−三二−三〇七　中谷 英明 内
電話・FAX　〇七二−八四八−八九八〇

●入会金及び会費について
一般維持会員　年会費　三〇〇〇円
賛助会費　一口　三〇〇〇円（何口でも可）
寄付金　お志し　※常時受け賜ります。　薄謝謹呈